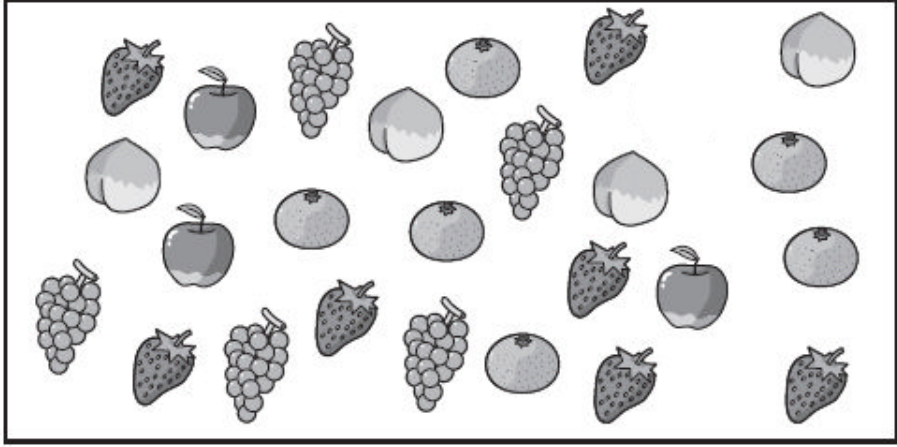


小学校第1学年 単元別たしかめテスト1 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

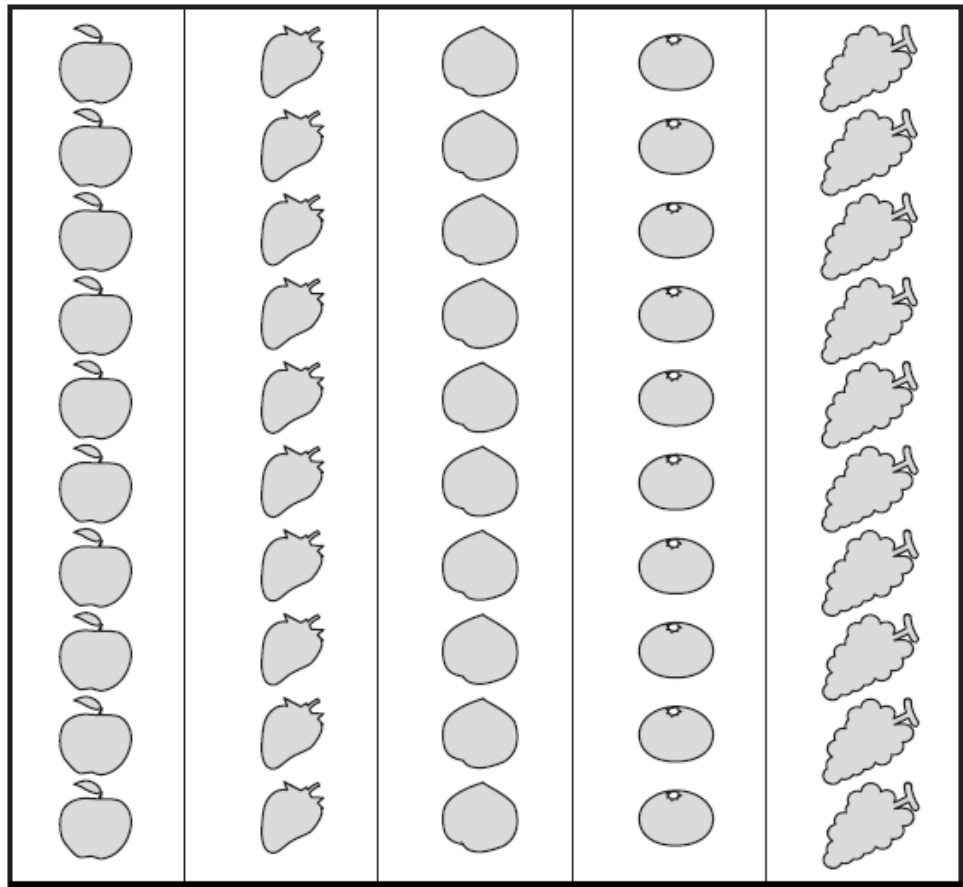
単元名		[1 かずとすうじ (啓林館P6~P15)] [1 なかまづくりとかず (東京書籍P2~P25)]							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(1) ものの個数を数えることなどの活動を通して, 数の意味について理解し, 数を用いることができるようにする。 ア ものとものを対応させることによって, ものの個数を比べること。 イ 個数や順番を正しく数えたり表したりすること。 ウ 数の大小や順序を考えることによって, 数の系列を作ったり, 数直線の上に表示したりすること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	5までの数の意味と表し方を理解している。	●●●●○○○○○○			○		○		90%
②	6から10までの数の意味と表し方を理解している。	●●●●●●○○○○			○		○		90%
③	対応などの操作によって, 10までの個数を比べることができる。	たんぽぽの方に○		○		○			90%
④	5までの個数を正しく数えて, 数字でかくことができる。	3		○			○		90%
⑤	6から10までの個数を正しく数えて, 数字でかくことができる。	10		○			○		90%
⑥	数の大小をとらえることができる。	9の方に○	○			○			90%
⑦	数の順序をとらえることができる。	6	○				○		90%
⑧	数の大小や順序をもとに, 選択肢の中から, 自分の考えを説明することができる。	・5より1おおいからに○か ・7より1ちいさいからに○ (いずれか1つを選べばよい。) ※⑦が正解の場合のみ, ⑧の正解は成立。	○			○			85%
合 計 8 問			3	3	2	3	5	0	89%

単元名 [かずとすうじ (啓林館) [なかまづくりとかず (東京書籍)]	①~④	⑤	得点
1ねん ()くみ ()ばん なまえ ()	(/4) 技能	(/1) 考え方	(/5)

○ えをみて 答えましょう。



① くだものの かずだけ いろを ぬりましょう。



② ぶどうは なんこ あるでしょう。

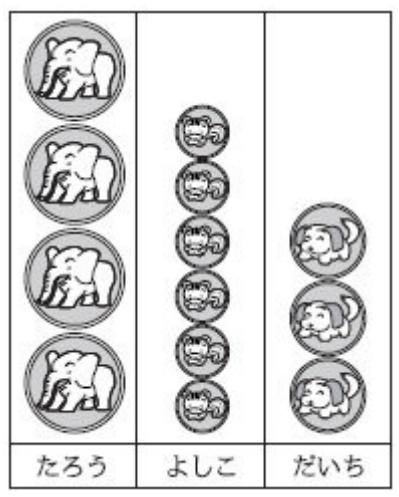
③ いちばん かずが おおい くだものは なんでしょう。

④ 3こ ある くだものは なんでしょう。

[①~④ 技能]

○ つぎの といに 答えましょう。

⑤ こんしゅうの めあてが まもれたひとは (あ)のように どうぶつしいるを はります。たろうさんは、「ぼくが 1ばんだ。」とよろこんでいます。それを きいた よしこさんは たろうさんのかんがえは まちがっていると いいました。そのわけを よしこさんの ふきだしのなかに、つづけて かきましょう。



(あ)



ぼくのが 1ばん たかい から 1ばんだ。



ちがうよ。 どうしてかというと、

[⑤ 考え方]

小学校第1学年 単元別確認テスト2 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

		〔1 かずとすうじ (啓林館P16~P17)〕〔1 なかまづくりとかず (東京書籍P21)〕							
〈学習指導要領〉 D 数量関係		(2) ものの個数を絵や図などを用いて表したり読み取ったりすることができるようにする。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式
①	いろいろな果物の絵を種類ごとにまとめて整理することができる。	りんご3こ, いちご7こ, もも4こ, みかん6こ, ぶどう5こ		○			○		90%
②	整理した図から, ぶどうの個数を読み取ることができる。	5こ		○			○		90%
③	整理した図から, 果物の個数を比べることができる。	いちご		○			○		90%
④	整理した図から, 果物の個数を読み取り答えることができる。	りんご		○			○		90%
⑤	それぞれのシールの大きさが違うことに気付き, 見た目だけではなく, 物の個数で多い少ないを考えることができる。	(例) ・ちがうよ。どうしてかというと, たろうさんのシールがたかいけど, 数は, わたしが1ばんよ。 ・ちがうよ。どうしてかというと, たろうさんは4こ, だいちはさんは3こ, わたしは6こだから, わたしが1ばんよ。 ・ちがうよ。どうしてかというと, たろうさんが1ばんにみえるけど, シールの数が1ばんおおいのは, わたしよ。 (シールの数に着目した答えであればよい。)	○					○	80%
合 計 5 問			1	4	0	0	4	1	88%

小学校第1学年 単元別たしかめテスト3

単元名 [なんばんめ (啓林館)] [なんばんめ (東京書籍)]	①② (/ 2) 知識・理解	③~⑤ (/ 3) 技能	⑥~⑧ (/ 3) 考え方	得点 (/ 8)
1ねん ()くみ ()ばん		なまえ ()		

○ えをみて 答えましょう。

① まえから 3だいを まるで かこみましょう。

まえ



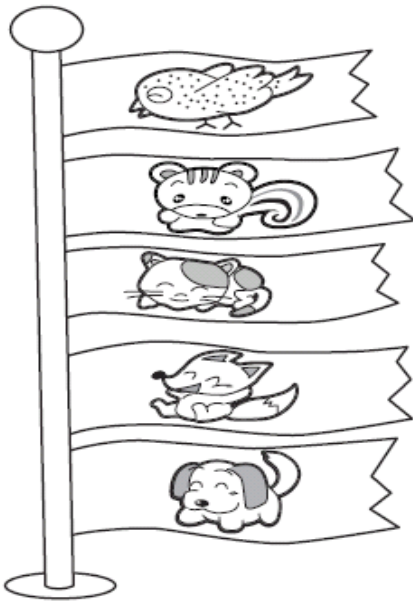
② まえから 4だいを まるで かこみましょう。

まえ



[①②知識・理解]

○ えをみて 答えましょう。



③ りすは うえから ()ばんめです。

④ ねこは したから ()ばんめです。

⑤ とりの したには ()ひきいます。

[③~⑤技能]

○ えをみて 答えましょう。

ひだり



みぎ

⑥ りんごは ひだりから ()ばんめ みぎから ()ばんめです。

⑦ みぎから 3ばんめの くだものを かきしょう。 ()

⑧ みぎから 4ばんめまでの くだものを ぜんぶ はこに いれます。

のこったくだもの なまえを ぜんぶ かきしょう。

()

[⑥~⑧考え方]

小学校第1学年 単元別たしかめテスト3 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

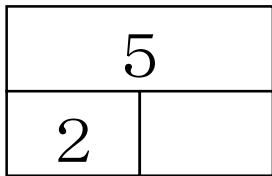
単元名		[2 なんばんめ (啓林館P18~P21)] [2 なんばんめ (東京書籍P26~P28)]							
〈学習指導要領〉 A 数と計算 C 図形		(1) ものの個数を数えることなどの活動を通して, 数の意味について理解し, 数を用いることができるようにする。 イ 個数や順番を正しく数えたり表したりすること。 (1) 身の回りにあるものの形についての観察や構成などの活動を通して, 図形についての理解の基礎となる経験を豊かにする。 イ 前後, 左右, 上下などの方向や位置に関する言葉を正しく用いて, ものの位置を言い表すこと。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式
①	集合数を理解している。	前から3台をぜんぶ○でかこむ			○		○	90%	
②	順序数を理解している。	前から4台目だけを○でかこむ			○		○	90%	
③	基準になる言葉(「上から」)から, 位置を正しく表すことができる。	2		○			○	90%	
④	基準になる言葉(「下から」)から, 位置を正しく表すことができる。	3		○			○	90%	
⑤	基準をもとにして, 個数を正しく数えることができる。	4		○			○	85%	
⑥	2通りの順序数の表し方についてとらえることができる。	2, 5	○				○	90%	
⑦	順序数をもとに, 答えを考えることができる。	もも	○				○	90%	
⑧	順序数をもとに, 問われている集合数を考えることができる。	いちご, りんご	○				○	75%	
合計 8 問			3	3	2	0	8	0	88%

小学校第1学年 単元別たしかめテスト④

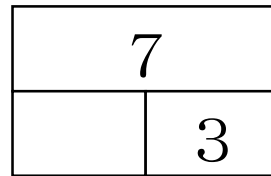
単元名 [いくつといくつ (啓林館)] [いくつといくつ (東京書籍)]	①② (/ 2) 知識・理解	③~⑥ (/ 4) 技能	⑦~⑨ (/ 3) 考え方	得点 (/ 9)
1ねん () くみ () ばん なまえ ()				

○ () に あう かずを かきましょう。

① 5は 2と ()



② 7は () と 3



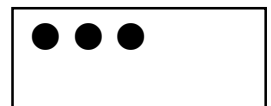
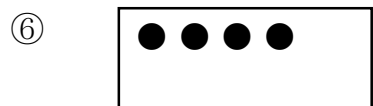
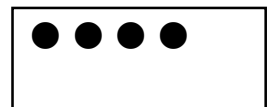
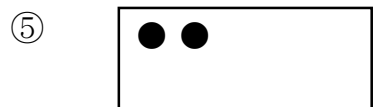
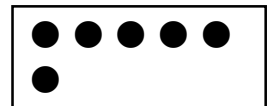
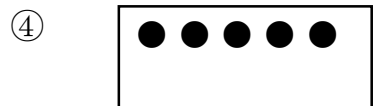
[①②知識・理解]

○ あと いくつで えんぴつは 9ほんに なるでしょう。□に あう かずを かきましょう。



あと ほん で 9ほん

○ _____ で むすんで 8に しましょう。

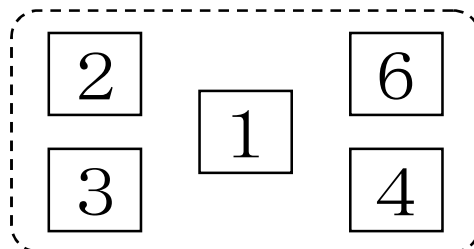


[③~⑥技能]

○ みぎの かあとから □に あう かずを えらんで かきましょう。

⑦ と で 6

⑧ と で 9



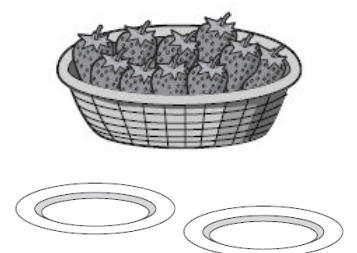
○ つぎの もんだいに こたえましょう。

⑨ かごにある 10この いちごを 2つの おさら に わけます。10この わけかたを () に 3とおりに かきましょう。

10こを () こ と () こ にわける

10こを () こ と () こ にわける

10こを () こ と () こ にわける



[⑦~⑨考え方]

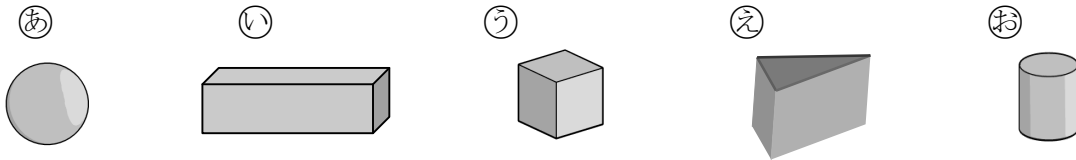
小学校第1学年 単元別たしかめテスト4 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[3 いくつといくつ (啓林館P22~P29)] [3 いくつといくつ (東京書籍P29~P37)]							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(1) ものの個数を数えることなどの活動を通して, 数の意味について理解し, 数を用いることができるようにする。 ア ものとものを対応させることによって, ものの個数を比べること。 エ 一つの数をほかの数の和や差としてみるなど, ほかの数と関係付けてみること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	5の分解・合成(2と3)を理解している。	3			○		○		90%
②	7の分解・合成(3と4)を理解している。	4			○		○		90%
③	9の分解・合成(2と7)が確実にできる。	7		○			○		90%
④	8の分解・合成(5と3)が確実にできる。	●●●		○			○		90%
⑤	8の分解・合成(2と6)が確実にできる。	●●●●●● ●		○			○		90%
⑥	8の分解・合成(4と4)が確実にできる。	●●●●		○			○		90%
⑦	6の分解・合成を考えて 当てはまる数字を選ぶことができる。	2と4	○				○		80%
⑧	9の分解・合成を考えて 当てはまる数字を選ぶことができる。	3と6	○				○		80%
⑨	10の分解・合成を考えて 10を多面的に考えることができる。	1と9 2と8 3と7 4と6 5と5 6と4 7と3 8と2 9と1 から3組 (ただし 3組とも完答のみ正解)	○				○		80%
合 計 9 問			3	4	2	2	7	0	87%

小学校第1学年 単元別たしかめテスト5

単元名 [いろいろなかたち (啓林館)] [かたちあそび (東京書籍)]	①~③ (/ 3) 知識・理解	④~⑥ (/ 3) 技能	⑦⑧ (/ 2) 考え方	得点 (/ 8)
1ねん ()くみ ()ばん なまえ ()				

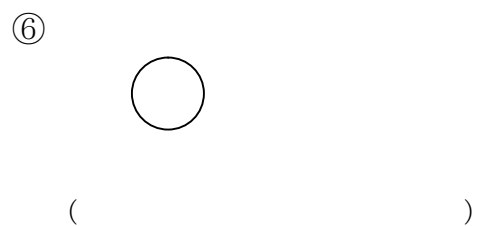
○ えをみて ㊦~㊯のなかから あてはまる きごうを ぜんぶ えらんで ください。



- ① ころころと ころがる かたち ()
- ② とがった かどがある かたち ()
- ③ ひとつひとつ つみかさねることができる かたち ()

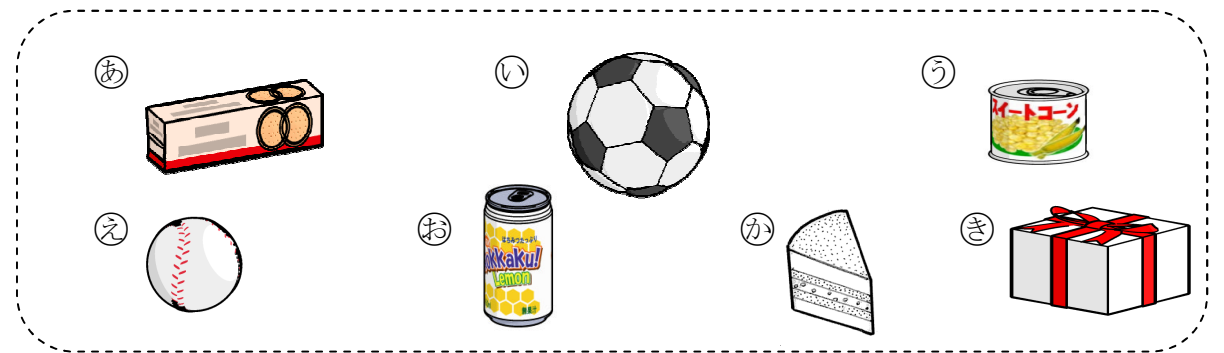
〔①~③知識・理解〕

○ うえから みると つぎの ずのように みえる かたちを うえの㊦~㊯のなかから ぜんぶ えらんで きごうで ください。


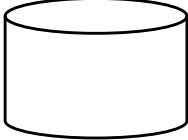


〔④~⑥技能〕

○ えをみて ください。



⑦  と おなじ かたちの なかまの きごうを ぜんぶ かきましょう。

⑧   と おなじ かたちの なかまは ㊨ と ㊯ だね。

うえのように かんがえた わけを たろうさんは つぎのように せつめいしました。 つぎの () に ことばを いれましょう。

【わけ】 ㊨ と ㊯ は、どちらも
 うえから みると () です。
 よこから みると () です。
 ころころと () 。
 ひとつひとつ つみかさねることが でき () 。

〔⑦⑧考え方〕

小学校第1学年 単元別たしかめテスト5 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔4 いろいろなかたち（啓林館P30～P35）〕〔12 かたちあそび（東京書籍下P12～P15）〕							
〈学習指導要領〉 C 図形		(1)身の回りにあるものの形についての観察や構成などの活動を通して、図形についての理解の基礎となる経験を豊かにする。 ア ものの形を認めたり、形の特徴をとらえたりすること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	立体の特徴（ころがる）を理解している。	あ、お			○	○			90%
②	立体の特徴（角がある）を理解している。	い、う、え			○	○			90%
③	立体の特徴（積み重ねられる）を理解している。	い、う、え、お			○	○			90%
④	立体の面の特徴から、上から見て△になる形を選ぶことができる。	え		○		○			80%
⑤	立体の面の特徴から、上から見て長方形になる形を選ぶことができる。	い		○		○			80%
⑥	立体の面の特徴から、上から見て円になる形を選ぶことができる。	あ、お		○		○			80%
⑦	身近な立体の特徴から、形の分類（箱の形）を判断することができる。	あ、き	○			○			80%
⑧	形を分類した根拠（立体の特徴）を説明することができる。	まる（の形） しかく（の形） ころがる ます （ただし 4つとも完答のみ正解）	○					○	70%
合計 8 問			2	3	3	7	0	1	83%

小学校第1学年 単元別たしかめテスト6

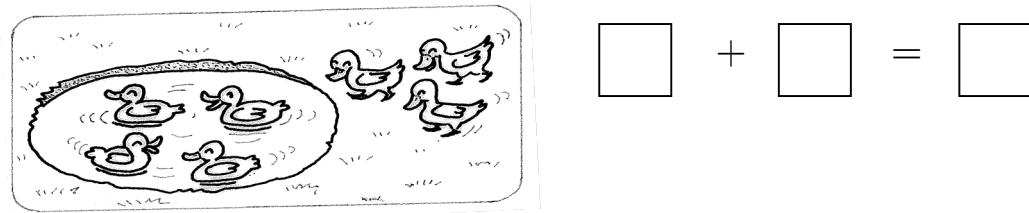
単元名 [たしざん(1)(啓林館)] [あわせていくつ ふえるといくつ(東京書籍)]	①~③ (/ 3) 知識・理解	④~⑥ (/ 3) 技能	⑦~⑩ (/ 4) 考え方	得点 (/ 10)
1ねん ()くみ ()ばん なまえ ()				

○しきに かきましょう。

① あわせて なんこに なるでしょう。



② ふえると なんびきに なるでしょう。



③ ぜんぶで なんこに なるでしょう。



【①~③知識・理解】

○たしざんを しましょう。

④ $6 + 2 =$

⑤ $3 + 4 =$

⑥ $1 + 9 =$

【④~⑥技能】

○しきと こたえを かきましょう。

⑦ あかい はなを 4ほん もって いました。しろい はなを 5ほん もらいました。

はなは あわせて なんほんに なったでしょう。

しき

こたえ

⑧ すべりだいで おとこのこと おんなのこが 3にんずつ あそんでいます。

みんなで なんにん いるでしょう。

しき

こたえ

○もんだいに こたえましょう。

⑨ □に あてはまる かずを かきましょう。

$$6 + \square = 10$$

⑩ $5 + 3$ の しきに なる もんだいを つくりましょう。

【⑦~⑩考え方】

小学校第1学年 単元別たしかめテスト6 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔6 たしざん(1) (啓林館P40~P45)〕〔4 あわせていくつ ふえるといくつ (東京書籍P38~P47)〕							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(2) 加法及び減法の意味について理解し, それらを用いることができるようにする。 ア 加法及び減法が用いられる場合について知ること。 イ 1位数と1位数との加法及びその逆の減法の計算の仕方を考え, それらの計算が確実にできること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	合併の場面が加法の式で表わされることを理解している。	3 2 5			○		○		90%
②	増加の場面が加法の式で表わされることを理解している。	4 3 7			○		○		90%
③	半具体物による場面が加法の式で表わされることを理解している。	5 4 9			○		○		90%
④	和が8の加法の計算が確実にできる。	8		○			○		90%
⑤	和が7の加法の計算が確実にできる。	7		○			○		90%
⑥	和が10の加法の計算が確実にできる。	10		○			○		90%
⑦	問題文から増加の場面であることを読み取り, 加法を用いて答えを考えることができる。	4 + 5 = 9 9本	○				○		80%
⑧	問題文から合併の場面であることを読み取り, 加法を用いて答えを考えることができる。	3 + 3 = 6 6人	○				○		80%
⑨	答えから判断し, 加法の式に当てはまる数字を考えることができる。	4	○				○		80%
⑩	5 + 3の式を用いる問題文を考えることができる。	【増加の問題例】 公園で5人遊んでいました。あとから3人来ました。あわせて何人でしょう。 【合併の問題例】 あかいはたが5本 しろいはたが3本あります。ぜんぶで何本でしょう。	○					○	70%
合 計 10 問			4	3	3	0	9	1	85%

小学校第1学年 単元別たしかめテスト⑦

単元名 [ひきざん (1) (啓林館)] [のこりはいくつ ちがいはいくつ (東京書籍)]	①② (/ 2) 知識・理解	③~⑥ (/ 4) 技能	⑦~⑩ (/ 4) 考え方	得点 (/ 10)
1ねん ()くみ ()ばん なまえ ()				

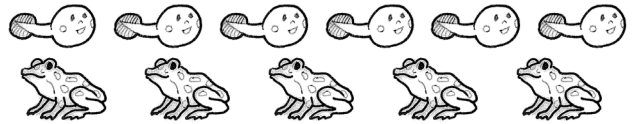
○ しきに かきましょう。

① 2ひき とんでいくと のこりは
なんびきでしょう。



$$5 - \square = \square$$

② かずの ちがいは いくつでしょう。



$$6 - \square = \square$$

[①②知識・理解]

○ ひきざんを しましょう。

③ $4 - 2 = \square$

④ $9 - 3 = \square$

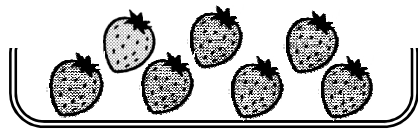
⑤ $10 - 7 = \square$

⑥ $10 - 2 = \square$

[③~⑥技能]

○ しきと こたえを かきましょう。

⑦ いちごが 7こ あります。 3こ たべると のこりは なんこでしょう。



しき

こたえ

⑧ プリンが4こ スプーンが6ぽん あります。 どちらが いくつ おおいでしょう。



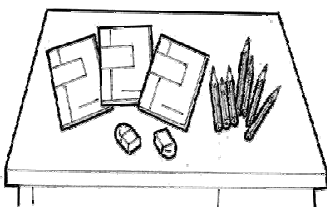
しき



こたえ が おおい

⑨ $9 - 7$ の しきに なる もんだいをつくりましょう。

⑩ つぎの えは まさおさんの つくえの うえを あらわしたものです。
えを みて ひきざんの もんだいをつくりましょう。



[⑦~⑩考え方]

小学校第1学年 単元別たしかめテスト7 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[7 ひきざん(1) (啓林館P48~P55)] [5 のこりはいくつ ちがいはいくつ (東京書籍P48~P59)]							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(2)加法及び減法の意味について理解し, それらを用いることができるようにする。 ア 加法及び減法が用いられる場合について知ること。 イ 1位数と1位数との加法及びその逆の減法の計算の仕方を考え, それらの計算が確実にできること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式
①	求残の場面が減法の式で表されることを理解している。	2 3			○		○	90%	
②	求差の場面が減法の式で表されることを理解している。	5 1			○		○	90%	
③	5以下の減法の計算が確実にできる。	2		○			○	80%	
④	9以下の減法の計算が確実にできる。	6		○			○	80%	
⑤	被減数が10の場合の減法計算が確実にできる。	3		○			○	80%	
⑥	被減数が10の場合の減法計算が確実にできる。	8		○			○	80%	
⑦	問題文から求残の場面であることを読み取り, 減法の式を用いて答えを考えることができる。	$7 - 3 = 4$ 4こ	○				○	70%	
⑧	問題文から求差の場面であることを読み取り, 減法の式を用いて答えを考えることができる。	$6 - 4 = 2$ スプーンが2本おい	○				○	70%	
⑨	$9 - 7$ の式を用いる問題文を考えることができる。	【求残の問題例】 こうえんで9人遊んでいました。ようじがあつて7人かえりました。こうえんにのこつたのは何人でしょう。 【求差の問題例】 あかいはたが9本, しろいはたが7本あります。ちがいは何本でしょう。	○				○	70%	
⑩	絵をもとに, 減法の式を用いる問題文を考えることができる。	【求差の問題例】 ノートが3さつ けしゴムが2こあります。どちらがいくつおいでしょう。	○				○	70%	
合 計 10 問			4	4	2	0	8	2	78%